

市場移転に関する関係局長会議 議事録

平成31年3月29日（金）
開会11時00分、閉会11時10分
都庁第一本庁舎7階大会議室

1 開会

（梶原政策企画局長）

それでは只今より、「市場移転に関する関係局長会議」を開催いたします。

まず、築地再開発の検討状況について、佐藤都市整備局長より説明をお願いいたします。

2 議題 築地再開発の検討状況

（佐藤都市整備局長）

それでは、築地再開発の検討状況でございます。築地再開発につきましては、昨年7月から検討をスタートいたしまして、検討を重ねてまいりました。この度、パブリックコメントでいただいた都民の皆様からの御意見、あるいは都議会での様々な議論を踏まえまして、「築地まちづくり方針」を取りまとめましたので、ご報告申し上げたいと思います。素案からの変更点を中心に御説明させていただきます。

では、資料をお開きいただきまして、まず2頁でございます。築地再開発の目的は、「築地のポテンシャルを生かし、魅力と付加価値を高め、東京の持続的成長につなげていくこと」でございます。この方針は、昨年5月に「築地再開発検討会議」により取りまとめられた「築地まちづくりの大きな視点」を踏まえ、都として築地再開発の将来像や方向性、進め方などを示したものでございます。具体化に向けまして、長期的な観点から民間の力を最大限に活用し、段階的な整備を進め、中長期的に都民にとっての価値を向上させてまいります。

次に3頁でございます。築地地区の将来像でございますが、浜離宮恩賜庭園や、食文化など、魅力的な資源を有する地域のポテンシャルを生かし、築地ブランドを含む新たな東京ブランドを創造・発信する「創発MICE」機能を持つ国際的な交流拠点が形成されている、などとしております。

資料の4頁をご覧ください。4頁、5頁が分野別の方針でございます。4頁では、都市基盤整備の方針として舟運、あるいは歩行者ネットワークに係る方針、さらに景観形成に係る方針、環境配慮に係る方針をお示ししております。

5頁におきましては、土地利用の方針といたしまして、導入機能の設定の視点につきましては、食文化の拠点として築地が育んできた活気とにぎわいに鑑みて、新たなにぎわい・集客を創出すること、築地に都として卸売市場を整備することはない、などとしております。また、導入機能の基本的な考え方といたしましては、浜離宮恩賜庭園など地域資源、築地にとって重要な要素の一つである食文化など、歴史的・文化的ストックを十分に生かす、などとしております。

次に資料の6頁をご覧ください。大丸有地区や臨海部など、周辺地域とも連携して、相乗効果を生み出していくこととしております。コア施設につきましては、素案の段階から変更はござい

ません。

続きまして、資料の7頁でございます。ゾーンごとの導入機能イメージでございます。現時点でのイメージを示すものですが、「食文化など歴史的、文化的ストックを十分に生かす」などの機能導入の考え方についても、本方針を踏まえ、民間事業者からの提案を受けて、具体化していくということを想定しております。

資料の8頁にまいります。段階的な整備の進め方でございます。これにつきましても、素案段階とは変更はございません。先行して、船着場周辺のエリアを整備するなど、4段階により整備していくこととしております。

次に9頁でございますが、まちづくり方針策定後の進め方でございます。民間からの提案を受けるため、都は、事業実施方針や事業者募集要項を作成・公表してまいります。また、長期的に一貫して、開発をコントロールする仕組みを整えてまいります。

次に、10頁からはパブリックコメントの結果についてでございます。パブリックコメントの概要についてでございますが、個人、法人などから合計202通の応募がございました。主な意見の要旨でございます。例えば、「基本的スタンスに関するもの」としては、「まちづくり方針の素案に示された将来像を踏まえ、築地再開発を早期に進めていくべき」との意見がございました。また、「築地は守る」という基本方針を守ってほしい」という意見もございました。それから、「築地まちづくり方針」の内容に関するものとしたしましては、食文化に関するものとして、「食文化を明記してほしい」や「食文化を中心とした再開発にすると明記すべき」、あるいは「食を中心とした再開発にする」などの意見がございました。また、具体的な機能導入に関するものとしては、「築地市場を再整備してほしい」との意見や、「国際的な展示会や会議を誘致するには、東京のみならず首都圏全体で構想する必要がある」など、様々な意見がございました。

資料の11ページをご覧ください。次に、「築地まちづくり方針」の素案からの主な修正内容について述べさせていただきます。全般的に食文化について記載を充実しております。こちらに下線で示しておりますところが修正内容でございます。先ほど、まちづくり方針の概要について、御説明したことのほか、「土地利用の現状等」のところに、築地ブランドについて表わす、などとしております。今後、「築地まちづくり方針」に沿って、まちづくりの具体化に向け、民間事業者募集に関する検討などを進めてまいる予定でございます。なお、本日、「築地まちづくり方針」を公表いたします。あわせて、パブリックコメントでいただいた御意見、及びそれに対する都の考え方を公表いたします。

最後になりますが、関係局の皆様方には、「築地まちづくり方針」の取りまとめにご協力いただきましてありがとうございました。また、引き続き連携を図らせていただきたいと存じますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

説明は以上になります。

3 知事発言

(梶原政策企画局長)

只今の説明について、御質問、御意見などがあれば御発言をお願いいたします。よろしゅうございますか。それでは最後に、知事から御発言がございます。

(小池知事)

改めておはようございます。今日は「市場移転に関する関係局長会議」ということで、先般のまちづくり方針について、まず素案が1月に公表されました。そして、都民の皆様から御意見をいただきました。また、都議会での議論も行われまして、そしてこれらを含めて検討してきたところでございます。本日は、その上で取りまとめた「築地まちづくり方針」についての報告をしてもらいました。ご苦労様でございます。

一昨年秋からの「築地再開発検討会議」など、外部の有識者の方を含めまして、様々な方にご協力をいただき、そして関係者の皆様にこの多くのご協力をいただいた、改めて感謝申し上げたいと存じます。

この旧築地市場跡地でございますが、都心のまたとない約23ヘクタールという大規模な都営地でございます。そして、今後の東京にとりましては、重要な役割を果たしうる、そのような場所でございます。

再開発にあたりましては、東京の食文化を担う多くの方々の努力によって脈々と築かれてきた築地ブランド、そして東京の宝物であります浜離宮恩賜庭園、そして隅田川など築地エリアが有するポテンシャルに加えて、都心の広大で貴重な都営地を生かして、東京の魅力を更に高めていくことが重要でございます。

そして長期的な観点からは、民間の力も最大限に活用いたしまして、先進性、そして国際性を兼ね備えた、東京の新たな顔を作って、新たな東京ブランドを創造・発信する、都民の皆様にとっての、また都全体としての価値の最大化を目指してまいります。

今後、まちづくり方針に沿いまして、実際にまちづくりを具体化していく新しい段階に入ります。着実な事業の推進をお願い申し上げます。

あわせまして、事業者の皆様と豊洲市場を円滑に運営していくとともに、市場会計の持続可能性の確保に向けました検討、そして卸売市場法の改正への対応など、万全を期していただきたいと存じます。

引き続き、関係局が一丸となって、これらに精力的に取り組んでいただくことをお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

4 閉会

(梶原政策企画局長)

ありがとうございました。本日の議題は以上となります。それでは、これにて閉会させていただきます。ありがとうございました。